

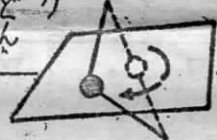
大阪

通信

83・4・10 発行 大阪府阿倍野区加町2-12-2 加藤三郎氏（に）

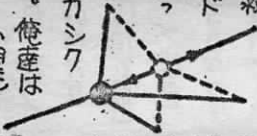
加藤三郎太田さん
がんばって！

加藤三郎氏と太田早苗さんがバク
られた。5年間の潜行生活の面、どん
なドラマがあったらう？。部隊戦
線。を名乗り警察をして「変装の名人」
といわれた加藤三郎氏が、バグワン
シユリ・ラジニースのサニヤシンにな
、てはるのには僕も驚いた。彼が首か
らマラを下げ、バグワンに帰依した事
をマスコミは爆弾魔のかくれみのど
か、転回どかガスの勘ぐりしやがる
が、合掌しながらちゃんと黙秘を闘つて
ると救済センターの人は言えた。弾圧の
中にあるも心の平安を持ってよく斗
えるのから理想に励んだ方がいいが
というものだ。「爆弾は反社会的行爲
だからいけないと思う。」と彼の通
っていた理想センターの仲間が言ったと
新聞に載ってたけど（まあこれも信用
できないけど）仲間への愛も、権力へ
の怒りも忘れてしまう事が悔いだとし



東アジア反日武装戦線への 死刑重刑攻撃 粉碎

たう、そんなものいらない。「悟りを求めると大きく迷
う。迷いを抱くと小さく悟る」と言う。サニヤシンヘラ
ジニースの信者の事への仲間達よ。加藤氏と一緒に大き
く迷おうよ。東アジア反日武装戦線の獄中戦士たちは、
自分一個のエゴやプライドはポンと捨てて、戦いの中に
生きる運命を愛する事で、心の道を極めていく。「私心
なくして為された行為は、例え殺人であっても罪の付着
する事はない。」とインドの主神クリシュナは説いてい
る。彼等もまた厳しい権力との闘いの中で自己放棄を學
んでいくヨガ行者だ。バカワット・ギーターいわく「自
己を更修し、全てを平等と見なす者は、一切万物の中に
ある自己を見、また自己の内に一切万物を見る。生者と
し生けるものの不幸、または幸福を自己のものと等しく
見る者は、最高の聖修者である。」時代はますます深く
なってきた。悟っているヒマなんてないぐうい、無邪気に
元気に、この世の悪と闘おうよ。東京の理想センターが
がサ入れられたってふりがかる火の子は私的なあかん
ともし神を實現せんとして仲間が今、獄中に囚われ
ひどい取調べを受けているんだ。一緒に、彼を救
けようよ。日本人として養われてきたプライド
や、カリスマや組織やドグマを見せかけたち
ぽけなオノレを捨てて、世間から超越したエ
リートじゃなく、裸の人間としてオモシロオカシク
斗おう。弾圧はあれはある程、友達もふえる。俺達は
負けない。加藤さん・太田さん。がんばって！（増五）



無罪であるが、 有罪であるが怒り あるらぬ。

5月14日の土田・日石・ピース街頭弾事件の判決には釈然としないものを感じる。ひとまず「無罪」ではあった。が、しかし、マスコミ云う所の「反社会無罪」とは、判決文云う所の「犯人であるとの疑いは残るものの——犯罪の証明がない」とはなんたることか。裁判—司法國家權力は自からの「ミエ」と「メンツ」のためにこのような「無罪」判決を出したのではないか。

そして、「平和な国日本」じゃあ疑いさば罰せずという司法の原則が守られてマース、「日本に生れてヨカッタネ」という風に日本國民にアピールする事、これが國家權力の狙いなのだろうね。

ところがドッコイ大ま
ちがいの巻になってはイ
ケマセヌ。彼らの本當の
狙いは運動・思想をツシシ



△ 6月11日、7時 反日・反國家運動大衆 共同心屋つゆくさ 353-8956 (天海) △

シ消滅させることにあるのだネ。つまり、何か國家權力の気分と威信を損なえる運動がある——國家權力はその運動を「國民」をより國家の側に引きつけながら、なにがなんでもつぶそうとする——デッチ上げフレームアップ運動者及びその周辺の人を根こそぎ逮捕する——國家の意向を代弁するがのように事件「解決」したの「やはり過激派」爆弾事件——お手々をひいておまわりさんありがとう」と「國民」アジテーションするマスコミ——K寮の不当な捜査・取調べ・逮捕の実状は、運動体の声は圧殺され闇に葬られてしまふ。

◎「土田」に「あいりんセンター」「総監公舎」デッチあげ裁判ではなせ無罪だったのだろうか。そして、北海道庁爆弾デッチあげ裁判の大森さんへの死刑判決はなぜなのだろう。くぬともつきぬ疑問が出てくる。疑いさば罰せずという確かの金言を疑ってみる必要がある。大森さんは「再び道庁を爆破せよ」なんて叫びまくるし証拠も自白調書もないけれど「治安」上「思想」上は國家にとって危険であるから死刑判決——犯人であるとの疑いは全然ないが、犯罪の証明はコジ付けでも妄想虚構でもかまわないからヤツを殺せ——という事なんだヨネ。

「無罪であるが、有罪であるが怒りあるのみ」という事を黒川芳正さんというてはったのですが、マサニそうやと思う今日この頃です。

(黒川風)

● 専ら局員が集中です。あはれたぬい、てゐる未知のハローをニジの尻で陶花させよう

東京やの会のお便り

「俺はここで生れ育った。他のどこへも行く所なんてない。サッポロで太森勝久君支援をやると断りにくりがえし、くりがえし、この寒言に出張します。」他のどこへも行く所なんかなければ、ってホントでしょうか。そうではなく、権力は彼を戦場に連れていって、くれるかもしれない。人は権力の意志で行く所はあるのです。しかし、自分の意志で行く所を見出すことこそ大切なことだと思ひます。先祖が「内地」から追われたかどうかは「日本人」の側の問題であって、居るべき人の正当性ももってないのである。しょうか。

さらに「アイヌって、何人いるの？」これ絶対ずいとい、ていいて出てくる曲りです。アイヌが何人いるかという事が、一体何に、どのように関係してゐるのでしょうか？「アイヌがたたくん」れば考えてやってみようか。アイヌのことである、史実には「やっばり、それやうにしかいれないのか」と思ひして、居ることをよくすることにゐるのです。この声こそアイヌ抹殺推進をひそかに支えてゐるのです。タスマニアのように絶滅させてしまふは、問題はなく、てしまふと。

またまたタイコ屋さんの便りです

(4・29集団の時) 12時半から1時半まで短、たけど銅鑼叩いてギンギングワッシャーンと梅田を練り歩いた。それ始、また両が降ってきて風も吹いてきてビルの谷間はもう嵐。それに向い風なの。即座の向い風です。銅鑼を口にくわえて耳をききし、て感じでした。昔中に「反日」だし。4・29は仕事休、おだし何かやろうと前々から思つて、でも大阪でこんなことであるとは思つてなかつた。何人か4・29屋分たいに練り歩いても面白かつたろう。小人数のグループが、ザリウ的に出沒してゐます。とがね。もともとと楽しくやろうや。

円盤
かどまね
LIVE AT THE
すかんじ
ぶるう

演奏のちも仲々
どうして来い
最難関即征。
2600円中1655
0797(2)1655



▽ 6月2日(木)16日(木) ニジの島作堂日 場所はTEL011合世 06(44)

▽ 4・29集団のアンケートを先日、豊中のKさん作選に付けりと送りますと、わけわけくれました。あれだけ人が集まるなんて、大阪もまだまじ捨てたものではないです。との感想。



▽ ところでハラハラ通信も今号で8号目。ニジ屋もかれこれ半年余りや、てきた事になります。4・29も終り、さて次は何をやるのか？そんな相談やニジの尻のやり方についてじ、くり詰しあいたり今日この頃。

▽ 通絡や収取りつづけるため事務局を作るうという事になりました。今人前の黒仙風氏と望君が一人前の仕事が出来る様、もう一人メンバーを自力で捜しなさいと4・29反省会を決ま、たそうです。今は2人でたった百数十通の送込に何晩も徹夜しながら睡眠不足トリップ遊びの日々。とにかく眠いのを通りこした状態になると何を見ても何しやべ、てもオモシロイから不思議。一緒にトブ人求めています。

▽ 作業日及び専ら局相調員を月に2回決めました。献中からの便りを読んだり、送達準備をしたり仕事はたくさん。

6月2日(木)16日(木)やります。離れでも気懸念のぞいて下さい。たぶん2000円もります。06(44)4089にTELして場所は聞いて下さい。

反日反同義詞集 一頁面目に深く考えようと企画しました。是非是非是非是非。6月11日(土)つづくと7月時

5月31日(火) 対戦直ニース読者会(にじの島) 大田幸子 大田幸子 (311)9490



6時半～ やること・杯プログラムざい。是非時厳中も。
プログラム
① 樹中及び各地からの便り ② 物部三郎氏・大田幸子さんはどうなるか？
③ 太森氏の救済活動についておぼけ ④ 東京支援活動報告の噂がけ
⑤ 支援直ニースの感想 ⑥ 4・29報告 ⑦ これからのニジの会について
▲ 気軽に・気楽に・ちよとでも便りがあったら、なぐさせたい